

2011 ゼミ勉強会 活動報告書

ISFJ inter-university seminar for the future of japan

部署 事業企画部
作成者 垣内良馬
作成日 6月20日

【開催日時】

2011年6月19日(日)
9:45~17:30

【会場】

明治大学 駿河台キャンパス リバティータワー 地下1階 1001 教室 F13,14

【参加者】

13大学 33研究会 110名

【企画概要】

今回の勉強会は、これから政策提言論文を執筆していく参加学生の皆様に対し、まず根幹となる政策そのものに焦点をあて、その実態や提言の必要性について理解を深めていただくとともに、実社会の問題に対して問題意識を持ち、その解決策を導く機会を提供することで「政策」とはいかなるものかを認識していただくことを目的に行いました。

【具体的内容】

- ・ 16期代表挨拶
- ・ 講演会～政策とは何か、学术论文の書き方について～
- ・ グループワーク～東日本大震災について～
- ・ 優秀班の発表(6チーム)
- ・ 全体講評

【総評】

今回の勉強会では、今年度政策提言論文の執筆を検討されている多くの意欲ある学生にお集まり頂くことができました。

第一部の全体講演では、政策研究大学院大学教授で政治学者の竹中治堅様をお招きし政策とは何か、学术论文の書き方についてご講演をして頂きました。学生が政策提言を行う上で意識すべき点や、どのような切り口や視点を持って政策を考案していくべきかについて理解を深めて頂くことができました。

また、第二部では東日本大震災を全教室共通の大テーマとして教室ごとに小テーマを設定し、他大の人や各分野の専門の講師を交えてグループワークを行いました。今回のグループワークを通して、政策提言論文を執筆していく上でどのように実社会の問題を捉え、それに対する解決策をどのように導くべきかという、政策を考案する上でのプロセスやそれに伴う考え方について学んでいただけたと考えております。

今後もゼミ代表者勉強会や政策合宿などを通して皆様の論文執筆のサポートをしていきたいと考えております。